

弁膜症手術を受けられる

下記について同意しました(本人・家族)

病名	担当医師	担当看護師	社会医療法人 北海道循環器病院
診断群分類	担当薬剤師	担当管理栄養士	
区分名称	担当理学療法士		

	外 来 (手 術 決 定 日)	入 院 (手 術 2 日 前)	手 術 前 日
目 標	# 弁膜症手術を受ける体制が整う 1. 心身ともに安定した状態で手術にのぞむことができる 2. 併存症の悪化がない		
処 置		・身長・体重・体温・血圧・脈拍を測定します。	・手術に必要な物品が揃っているか確認します。 ・体温・血圧・脈拍を測定します。
薬	・血液をサラサラにする薬を服用しているか確認し、医師の指示がある場合は中止します。		・通常通りに内服してください。 ・緊張などで眠れないことがありましたら看護師へお伝えください。(精神安定剤や睡眠剤を検討いたします。)
検 査	・血液検査、尿検査を行います。 ・検便の容器を渡しますので再診の時提出してください ・心電図をとります。 ・ホルター心電図を行います。 ・頭と胸とお腹のレントゲン写真を撮影します。 ・胸とお腹のCT検査を行います。 ・心臓・首の動脈のエコー検査を行います。 ・肺機能の検査をします。 ・痰の検査をします。 ・心臓のエコー検査を行います。 ・(医師の指示がある方) 眼科を受診して下さい。	・朝、血液検査を行います。 ・胸のレントゲン写真を撮影します。	・朝、血液検査を行います。
食 事 飲 水		・制限はありません 検査により、食事ができない場合がありますので、その際には看護師より説明します。 ・一週間以内に管理栄養士が栄養指導に参ります。特別な栄養管理の必要性がある場合、栄養管理計画に基づいた管理を行います。	・制限はありません。
リハビリ		・手術後の呼吸が楽に行えるよう、腹式呼吸の練習が始まります。	
活 動		・病院内自由で制限はありません。	・制限はありません。
清 潔		・入浴可能で制限はありません。	・シャワーに入っていただきます。髭剃り・爪切りも忘れずに行ってください。へそもきれいにしておいてください
説 明 指 導	・造影剤検査同意書へのサインをお願いします。 ・(喫煙者は) 禁煙を継続して下さい。 ・経食道心エコー検査同意書へのサインをお願いします。 ・経食道心エコーに伴う絶食について説明します。 ・当院からの紹介状を持参して歯科を受診をしてください。	・医師より手術についての説明があります。その後、手術同意書・輸血同意書へのサインをお願いします。 ・看護師より手術の準備について説明します。	・看護師より手術について最終確認をいたしますので、不明な点をご遠慮なくお尋ねください。 ・手術室・集中治療室の看護師より説明しますので、病室でお待ちください。

※ 状況に応じて、予定が変更になる場合があります。不明な点がございましたら、ご遠慮なくお尋ねください。

目 標	(手 術 当 日)	
	手 術 前 (病 棟)	手 術 後 (C C U)
目 標	# 弁膜症手術を受ける体制が整う 1. 心身ともに安定した状態で手術にのぞむことができる 2. 併存症の悪化がない	# 術後合併症（誤嚥、SSI等）を起こさない□
処 置	<ul style="list-style-type: none"> ・体温・血圧・脈拍を測定します。 ・朝6時に浣腸をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体温・血圧・脈拍を測定します。 ・麻酔が覚め、呼吸が安定したら人工呼吸の管を抜きます。その後、肺炎予防のため吸入を行います。 ・手術部位からの出血がないかどうか頻回に確認します。 ・脈が落ち着くまでは、体外式ペースメーカーが入っています。
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎖骨部分、手から点滴が入っており、必要な薬を点滴します。 ・全身麻酔の影響で腸の動きが弱まります。腸が十分に動き出すまでは鼻から胃へチューブが入り、そこから胃の薬を注入します。（腸の動きを確認後、嘔気がなければ鼻のチューブを抜きます。）
検 査		<ul style="list-style-type: none"> ・胸のレントゲン写真を撮影します。（手術室で撮影） ・お腹のレントゲン写真を撮影します。（手術室で撮影、必要な場合のみ） ・血糖値を測定します
食 事 飲 水	<ul style="list-style-type: none"> ・朝7時より絶飲食となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸の管が抜け、およそ2時間後より飲水ができます。飲水前はむせがないかテストします。 はじめはむせ込む場合がありますので少量ずつの飲水とし、1日600mlまでとなります。
リハビリ		<ul style="list-style-type: none"> ・手術後の呼吸が楽にできるよう、また、咳や痰を出す時の苦痛を少しでも和らげるようお手伝いします。
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・手術までは制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対安静またはベッドの頭側を少し
清 潔 排 泄		<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上での排泄となりますので、遠慮せず看護師をお呼びください。
説 明 指 導		<ul style="list-style-type: none"> ・手術の経過について医師より説明があります。 手術終了後、看護師が連絡しますので家族控え室にてお待ちください。

※ 状況に応じて、予定が変更になる場合があります。不明な点がありましたら、ご遠慮なくお尋ねください。

平成29年2月7日改訂

	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
目 標	# 術後合併症（誤嚥、SSIなど）を起こさない□	# 術後合併症（誤嚥、SSIなど）を起こさない # 一般状態が安定し独歩が可能となる	# 術後合併症を起こさない # 一般状態が安定し独歩が可能となる
処 置	<ul style="list-style-type: none"> 吸入をします。（6時、10時、15時、20時） 手術後の創部のガーゼ交換を行います。 体温・血圧・脈拍を測定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 創部のガーゼが汚染している際に、ガーゼ交換を行います。 体温・血圧・脈拍を測定します。 CCU退室前に動脈に入っている管1本と鎖骨部分に入っている心臓の圧をみる管1本を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ガーゼ交換を行います。 体温・血圧・脈拍を測定します。 鎖骨部分の点滴の管を抜きます。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 点滴をします。 朝から内服薬が開始となります。 持参薬については内容を確認後、内服開始かどうか看護師からお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 内服薬のみとなります。
検 査	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査を行います。 胸のレントゲン写真を撮影します。 心電図をとります。 血糖値を測定します 	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査を行います。 胸のレントゲン写真を撮影します。 血糖値を測定します 	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査を行います。 胸のレントゲン写真を撮影します。 血糖値を測定します
食 事 飲 水	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて食事提供します。 飲水量は1日1000mlまでとなります。 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食より5分食をお出しします。 	
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸練習・体力回復へ向けて心臓リハビリテーションが開始となり、理学療法士がお手伝いします。 		
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ベッドサイド～トイレ・洗面所までの歩行が許可となります。 	<ul style="list-style-type: none"> CCUから一般病棟(個室)へ移動となります 病棟内自由となります 	<ul style="list-style-type: none"> 病院内自由となります。
清 潔	<ul style="list-style-type: none"> タオルで体をお拭きします。 		
排 泄	<ul style="list-style-type: none"> 尿は管を通して排泄されます。 排便はトイレに行くことができます。 移動の際はお手伝いしますので遠慮せず看護師をお呼びください。 		
説 明 指 導	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、心不全の予防のためにも水分・活動量の制限がありますが、その都度看護師より説明いたしますので御了解ください。 開胸に伴い、胸骨を切断してワイヤーで固定しているので、上半身をねじるような動きは避けて下さい。 バスタバンドは術後3ヶ月は着用しましょう。 		

※ 状況に応じて、予定が変更になる場合があります。不明な点がありましたら、ご遠慮なくお尋ねください。

平成29年2月7日改訂

	手術後 4 ～ 7 日目	手術後 8 ～ 14 日目	手術後 15 ～ 19 日目
目 標	# 一般状態が安定し、ADL(日常生活動作)がアップできる	# リハビリが集団スポーツ療法へアップできる	# リハビリ(集団スポーツ療法)が順調に行える # 退院後の生活がイメージでき、注意点が理解できる
処 置	<ul style="list-style-type: none"> ・体重測定を行います。(7時) ・必要時、ガーゼ交換を行います。 ・体温・血圧・脈拍を測定します。(心電図モニターをつけます) 	<ul style="list-style-type: none"> ・体重測定を行います。(7時) ・必要時、ガーゼ交換を行います。 ・心電図モニターをはずします。 ・体温、脈拍を測定します。 ・体外式ペースメーカーを外します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体重測定を行います。(7時) ・体温、脈拍を測定します。
薬			
検 査	<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査を行います。(5日目・7日目) ・胸のレントゲン写真を撮影します。(5日目・7日目) ・心電図をとります。(7日目) ・心臓のエコー検査を行います。(7日目) ・ホルター心電図をとります。(5日目) ・血糖値を測定します(5日目まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査を行います。(10日目・14日目) ・胸のレントゲン写真を撮影します。(10日目・14日目) ・心電図をとります。(14日目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査を行います。(17日目) ・胸のレントゲン写真を撮影します。(17日目) ・退院後、初回外来受診時に血液検査、胸のレントゲン写真、心電図、心臓のエコーの検査を行います。
食 事 飲 水	<ul style="list-style-type: none"> ・4日目の昼食から手術前と同じ食事に戻ります。 ・飲水量は1日1000mlまでとなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありませんが、食べ過ぎ・飲み過ぎには注意してください。 	
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸練習、体力回復へ向けての心臓リハビリを続けます。 ・術後7日目以降で、心電図モニターをつけてシャワーを行います。(水中モニター)不整脈など異常がなければ次回よりシャワーができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリとして少しずつ活動量が増えます。体力的に疲労感が強く、負担と感じる際にはお知らせ下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動負荷試験を行い、現在の体力がどのくらいなのかを測定します。この検査では、今後どの程度運動したらよいか、その目安を計り説明します。 ・集団スポーツ療法を行います。
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内自由となります。 ・一般病棟(個室～大部屋)へ移動となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院に向けて自信をつけていただくためにも、10日目より外出・外泊も可能です。医師へ確認しますので看護師へご相談ください。 	
清 潔	<ul style="list-style-type: none"> ・タオルで体をお拭きします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水中モニターの結果と傷の状態により、シャワーまたは入浴ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴ができます。
排 泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管を抜きます。抜いた後に尿量を確認するため、蓄尿をしてください。 		
説 明 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師より薬について説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師より心不全について説明します。 ・管理栄養士より食事について説明・相談があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院に向けて看護師・管理栄養士より説明します。 ・退院後初回外来受診時の検査について説明します。また退院3ヶ月後に栄養指導の予約をします。 ・医師より退院後の生活についての説明があります。 ・創部の発赤・熱感・浸出液が見られた場合はすぐに病院へご連絡下さい。

※ 状況に応じて、予定が変更になる場合があります。不明な点がございましたら、ご遠慮なくお尋ねください。

平成29年2月7日改訂